

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	和歌山県	市町村名		大学名	
派遣日	令和4年11月25日(金曜日) 13:30~16:30 13:30 開会・挨拶 13:30~16:10 講義・演習 16:10~16:20 質疑応答 16:20~16:30 事務連絡 16:30 閉会				
実施方法	※いずれかに○をつけてください。 <u>派遣</u> / 遠隔				
派遣場所	和歌山県情報交流センター Big・U (和歌山県田辺市新庄町3353-9)				
アドバイザー氏名	認定NPO 法人多文化共生教育ネットワークかながわ 事務局長 高橋 清樹 氏				
相談者(受講者)	市町村教育委員会担当者等 日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する学校の管理職及び教員等 日本語指導に係る関係者 和歌山県教育委員会指導主事等				
相談内容	外国人児童生徒等教育に係る研修会の講師として講義・演習を依頼 ・学習参加のための支援や教材を含む学習環境づくりについて ・令和5年度から施行される、高等学校における「特別の教育課程」を編成するための考え方や方法等について ・校種間の連携や情報共有の在り方について ・高等学校への進学や高等学校卒業後の進路実現に向けて、義務教育段階からどのように長期的な計画を立て、指導を行っていくべきか				
派遣者からの指導助言内容	講義「外国につながるのある児童生徒の状況と支援のあり方」 ○ 外国につながるのある子供について ・文部科学省が行っている全国調査結果から見える今後の傾向 ・当該児童生徒のライフコースにおける4つの壁(基礎学力定着の壁・高校進学の壁・高校での学習定着の壁・社会参加自立の壁) ・来日時の年齢による、言語能力(生活言語能力と学習言語能力)の発達のプロセスの違い ・社会参加に向けて身に付けて欲しい力・姿勢等 ○ 外国人児童生徒の教育の権利について ・外国人の子供の公立義務諸学校への受入れに関すること(日本国憲法・教育基本法・児童の権利に関する条約から) ・不就学や高校生等の中退率 ○ 日本語支援の実例 ・生徒支援の具体的な取組における4つのポイント(アセスメント、日本語指導と教科指導、校内体制、外部機関との連携)について				

(様式3)

	<ul style="list-style-type: none"><li>・神奈川県立高等学校における取組の例として、卒業生へのインタビューや授業実践の動画視聴、日本語に関連する科目を含めたカリキュラム編成や日本語の授業におけるワークシート等の紹介</li><li>・ICT 学習教材や、音声翻訳アプリの紹介</li></ul> <p>○ 認定 NPO 法人多文化共生ネットワークかながわ (ME-net) について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・活動内容等</li></ul> <p>○ グループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・異校種による3～5人でグループを編成し、所属校における実践の交流</li><li>・講義内容から、今後の取組について検討</li><li>・グループでの協議内容の発表</li><li>・質疑応答</li></ul>
相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<p>今回の研修において、小・中・高等学校、そして高校卒業後の進路まで、系統性を踏まえた支援を行っていくことの重要性について再認識することができた。</p> <p>また、特別の教育課程等を含む児童生徒等への対応について、教育委員会や学校等が担う役割や支援の方法等を学ぶことができた。</p> <p>今後も日本語指導を必要とする児童生徒等への支援の充実のために、研修会等を計画していく。</p>

1枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、[文部科学省ホームページ](#)で公開いたします。